

国の次期計画との整合表

国の第3次計画では、31施策を設定
・国計画の31施策のうち、22施策は本市計画の施策に合致。
（その他の9施策は、「民間事業者の対応範囲(5)」「ITS等活用等の新技術(国において社会実験中)(1)」「自転車通勤等の促進(2)」「警察の指導取締り(1)」）

（国）第3次自転車活用推進計画 2026予～2030		
目標	施策	備考
【目標①】 安全で快適な自転車ネットワークの整備等による 良好な自転車利用環境 の実現	1. 地方公共団体における計画策定・施策実施の促進 自活計画やNW計画策定の促進に向けた措置を強化	強化
	2. 自転車通行空間の計画的な整備の推進 自転車専用の通行空間整備推進に向けた措置を拡充	強化
	3. 自転車通行空間確保の促進に向けた路外駐車場等の整備や違法駐車取締りの推進 自転車専用通行帯における停車対策に係る措置を拡充	強化
	4. 多様な自転車や地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備の推進 多様な自転車への対応を強化	強化
	5. 計画策定等の高度化に向けた情報通信技術の活用の推進 NW整備に係るデータ活用等の措置を拡充	強化
	6. 生活道路での通過交通の抑制や無電柱化と合わせた取組の実施 変更なし	継続
【目標②】 自転車事故のない 安全で安心な社会 の実現	7. 道路利用者全体の安全意識の醸成 在留外国人へのルール・マナー徹底等に関する措置を拡充	強化
	8. 通学時の安全確保等自転車の交通安全教育の推進 交通安全教室から交通安全教育全体を示す表現に変更	強化
	9. 通学環境をはじめ自転車通学のさらなる安全確保 中高生の自転車通学中の事故を減らす	新規
	10. 自転車の点検整備の促進 広報啓発等のみではなく点検整備全体の内容に強化	強化
	11. 自転車利用者に対する指導・取締りによる自転車の安全な利用の促進【新規】	新規
	12. 公園等の活用による安全に自転車に乗れる環境の創出の促進【新規】	新規
	13. 情報通信技術等の活用による自転車と自動車の事故削減の推進【新規】	新規
	14. 災害時における自転車の活用の推進 災害時のマウンテンバイク等活用推進に関する措置を拡充	強化
	15. 損害賠償責任保険等への加入の促進 変更なし	継続
	16. 自転車と地域の公共交通等との連携の促進【新規】	新規
【目標③】 自転車交通の役割拡大による 地域の良好な移動環境 の形成	17. シェアサイクルの普及促進 付置義務駐輪場・駐車場のポートへの転用や公共駐輪場のモビリティハブとしての機能向上に関する措置を拡充	強化
	18. 公共交通機関への自転車の持ち込みの促進【新規】	新規
	19. 自転車通勤等の促進 目的地最寄り駅・バス停からの自転車利用の促進に向けた措置を拡充	強化
	20. 高い安全性を備えた自転車の普及促進 電動アシスト自転車の普及に向けた措置を拡充	強化
	21. 多様なニーズに応える自転車の開発・普及の促進 電動アシスト自転車のアシスト方法の研究に係る措置を拡充	強化
	22. 自転車を利用した健康づくりの推進 健康づくりに向けた措置を拡充	強化
	23. サイクルスポーツ、自転車競技の普及・振興の推進 変更なし	継続
	24. 自転車の利用促進による環境負荷軽減の推進	新規
	25. 自転車におけるサーキュラーエコノミーの推進	新規
	26. シェアサイクルの普及促進【17再掲】	強化
【目標④】 自転車利用の促進による 活力ある健康長寿社会や脱炭素社会 の実現	27. 自転車通勤等の促進【19再掲】	強化
	28. 世界に誇るサイクリング環境の創出 NGRの取組強化や訪日外国人への交通ルール周知の措置を拡充	強化
	29. 自転車活用による観光地域づくりの推進	新規
	30. 障がい者や幅広い年齢層におけるサイクルスポーツ、自転車競、サイクルイベントの振興を通じた地域活性化の推進 サイクルスポーツ振興により地域活性化を推進強化	強化
	31. 国際会議や国際的なサイクリング大会等の誘致 国際会議等を通じ日本の自転車に関する文化・技術等の世界へ発信に関する措置を拡充	強化

本市 関連局
建設局
建設局 大阪港湾局
計画調整局
建設局
建設局
建設局
市民局
市民局
建設
なし
なし
建設局
建設局
危機管理室
市民
計画調整局
(強化部(附置義務)) 計画調整局 建設局 (既存部(シェアサイクル)) 計画調整局 区役所
なし
なし
なし
なし
健康局
経済戦略局 (スポーツ)
環境局
なし
(強化部(附置義務)) 計画調整局 建設局 (既存部(シェアサイクル)) 計画調整局 区役所 なし
建設局
経済戦略局 (観光) 建設局
経済戦略局 (スポーツ)
経済戦略局 (スポーツ)

（大阪市）次期自転車活用推進計画 2026予～2030			
目標	施策	備考1	備考2
【目標①利用環境】 安全で快適な走行環境の整備による 良好な自転車利用環境 の実現 目標①は、目標②～⑤のベースと位置付け	1. 良好な自転車ネットワークの形成	対応	建設：既に自活および、ネットワーク(整備)計画策定済
	1. 良好な自転車ネットワークの形成	対応	建設：車道通行を基本とした国ガイドラインに準じた整備 港湾：港湾道路は大型車両が多いことから、自歩道を基本に整備
	2. 路上駐車の抑制	対応	計調：駐車場情報の提供や迷惑駐車に対するマナー向上に向けた啓発活動 建設：交通管理者と協議のうえ停車帯を含む自転車通行環境を整備予定
	3. 自転車駐輪対策	対応	建設：多様な自転車への対応を強化 また、放置自転車等台数調査を実施し、地域の駐輪需要等を踏まえた駐輪場整備を検討
	1. 良好な自転車ネットワークの形成	対応	建設：事故密度データに基づき優先整備路線を選定(計画改定)
	1. 良好な自転車ネットワークの形成 4. まちづくりと連携した総合的な取組の実施	対応	建設：無電柱事業による道路空間再配分の検討を実施 建設：交通バリアフリー基本構想作成地区やゾーン30プラス検討地区において自転車の安全対策を盛り込むとともに、事故統計データ分析等による生活道路の整備計画立案に取り組む
	5. 交通安全思想の普及徹底 自転車事故のない安全で安心なまちの実現	対応	市民：交通安全に関する普及啓発活動の推進(大阪市ホームページ・SNS等において情報発信や、外国人向けの広報チラシも合わせて掲載)
	5. 交通安全思想の普及徹底	対応	市民：ライフステージに応じた交通安全教育の推進及び民間等と連携した交通安全教育の推進
	1. 良好な自転車ネットワークの形成 4. まちづくりと連携した総合的な取組の実施	対応	建設：幹線道路を中心とした自転車通行空間の整備 建設：生活道路等におけるエリアでの交通安全対策
	なし	-	事務局：民間事業者の対応範囲
【目標②安全安心】 自転車事故のない安全で安心なまちの実現	なし	-	事務局：指導・取締りは大阪府警察の対応範囲
	1. 良好な自転車ネットワークの形成	対応	建設：レクリエーションに資する広域サイクルラインの形成。休憩スポットの充実・周知
	なし	-	事務局：ITSを用いたリアルタイムでの安全情報等の通信技術は社会実験中であるため、国の動向を注視し施策検討
	6. 災害時における自転車活用の推進	対応	危機管：大阪市業務継続計画で、災害時の職員参集方法として自転車を活用
	5. 交通安全思想の普及徹底	対応	市民：交通安全に関する普及啓発活動の推進(大阪市ホームページ・自転車ルールブックにおいて情報発信)
	7. 交通手段のベストミックス 自転車交通の役割拡大による地域の良好な移動環境の形成	対応	計調：駅周辺にシェアサイクルポート整備促進により公共交通との接続強化。ラストワンマイルでのシェアサイクル活用を検討
	4. まちづくりと連携した総合的な取組の実施 7. 交通手段のベストミックス	対応	建設：現行条例上、附置義務駐輪場をポートに置き換えることはできない(継続協議) 計調・区：地域特性に応じ公共用地等をシェアサイクルポート活用を検討 計調・区：駅周辺にシェアサイクルポート整備促進により公共交通との接続強化。ラストワンマイルでのシェアサイクル活用を検討
	なし	-	事務局：大阪市内の鉄道は混雑時間帯が多く、他の乗客との安全や快適性の確保が課題が多い。また、サイクルトレインの判断は民間事業者の対応範囲
	なし	-	事務局：既に多くの市民が生活交通手段として自転車を利用しており、政令都市で最も自転車分担率が高く大阪市の実情と合致しないことから、まずは栄養環境の充実から取り組む 事務局：民間事業者の対応範囲
	なし	-	事務局：民間事業者の対応範囲。整備形態等は国ガイドラインに準じ実施
【目標③移動環境】 自転車交通の役割拡大による地域の良好な移動環境の形成	8. 運動習慣の確立	対応	健康：自転車を含めた健康づくりの周知啓発を実施
	9. サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用	対応	経戦：大阪城トライアスロンの実施 建設：整備にあわせ、広域サイクルラインでの案内サイン等を整備。休憩スポットの充実・周知の検討を進める
	10. 移動の脱炭素化の促進	対応	環境：デコ活の啓発を通じ行動変容を推進
	なし	-	事務局：資源を循環的に利用し、廃棄物の発生を最小限に抑えながら付加価値の最大化を目指す商品開発等は、民間事業者の対応範囲
	4. まちづくりと連携した総合的な取組の実施【再掲】 7. 交通手段のベストミックス【再掲】	対応	【17再掲】
	なし	-	【19再掲】
	1. 良好な自転車ネットワークの形成 11. 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市の形成	対応	建設：レクリエーションに資する広域サイクルラインのネットワークを形成。整備にあわせ、広域サイクルラインでの案内サイン等を整備。休憩スポットの充実・周知の検討を進める
	11. 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市の形成	対応	経戦：ガイドマップ・広報動画でのプロモーション
	9. サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用	対応	経戦：大阪城トライアスロンの実施 事務局：サイクリングロードにおいては、タンデム等の多様な自転車も走行可能。
	9. サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用	対応	経戦：大阪城トライアスロンの実施
【目標④健康・脱炭素】 自転車利用の促進による活力ある健康長寿社会や脱炭素社会の実現	8. 運動習慣の確立	対応	健康：自転車を含めた健康づくりの周知啓発を実施
	9. サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用	対応	経戦：大阪城トライアスロンの実施 建設：整備にあわせ、広域サイクルラインでの案内サイン等を整備。休憩スポットの充実・周知の検討を進める
	10. 移動の脱炭素化の促進	対応	環境：デコ活の啓発を通じ行動変容を推進
	なし	-	事務局：資源を循環的に利用し、廃棄物の発生を最小限に抑えながら付加価値の最大化を目指す商品開発等は、民間事業者の対応範囲
	4. まちづくりと連携した総合的な取組の実施【再掲】 7. 交通手段のベストミックス【再掲】	対応	【17再掲】
【目標⑤観光地域づくり】 サイクリング環境の整備による観光魅力の向上	1. 良好な自転車ネットワークの形成 11. 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市の形成	対応	建設：レクリエーションに資する広域サイクルラインのネットワークを形成。整備にあわせ、広域サイクルラインでの案内サイン等を整備。休憩スポットの充実・周知の検討を進める
	11. 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市の形成	対応	経戦：ガイドマップ・広報動画でのプロモーション
	9. サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用	対応	経戦：大阪城トライアスロンの実施 事務局：サイクリングロードにおいては、タンデム等の多様な自転車も走行可能。
	9. サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用	対応	経戦：大阪城トライアスロンの実施